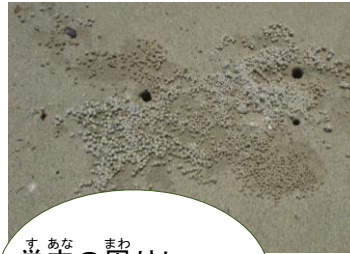


干潟の生きもの

○干潟を食べる？

コメツキガニは、干潟にたまった栄養分（えいようぶん）をエサにしているんだ。ハサミで砂を口にはこび、砂についている栄養分をなめ取るよ。そのあと、砂団子（すなだんご）にしてすてるんだ。



すな あな まわ
巢穴の周りに
すなだんご ちら
砂団子が散らばる



すなだんご
砂団子は
コメツキガニの
しょくじ
食事あと

○海のそうじ屋さん

干潟には、肉食（にくしょく）の貝やヤドカリなどが、たくさんすんでいるよ。魚などの死がいがあれば、集まってきれいに食べつくすんだ。このような生きものを「海のそうじ屋さん」とよぶよ。



アラムシロ

ひがた ひょうめん
干潟の表面にすみ
ふだん もぐ
普段はぬかるみに潜っている



におい ひ よ
匂いに引き寄せられたアラムシロが
むら あさ た
群がり、餌を食べる

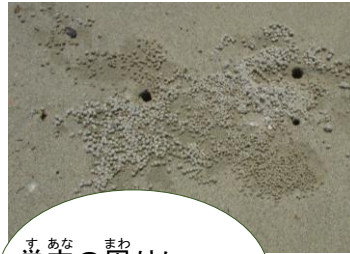
- ・ コメツキガニの食事あとは、（ ）とよびます。
- ・ 肉食の貝やヤドカリは、「海の（ ）」です。
- ・ 普段のアラムシロは、（ ）にもぐっています。

気付き・感想

干潟の生きもの

○干潟を食べる？

コメツキガニは、干潟にたまった栄養分（えいようぶん）をエサにしているんだ。ハサミで砂を口にはこび、砂についている栄養分をなめ取るよ。そのあと、砂団子（すなだんご）にしてすてるんだ。



すなまわ
巣穴の周りに
砂団子が散らばる



すなだんご
砂団子は
コメツキガニの
しよくじ
食事あと

○海のそうじ屋さん

干潟には、肉食（にくしよく）の貝やヤドカリなどが、たくさんすんでいるよ。魚などの死がいがあれば、集まってきれいに食べつくすんだ。このような生きものを「海のそうじ屋さん」とよぶよ。



アラムシロ

ひがた ひようめん
干潟の表面にすみ
ふだん
普段はぬかるみに潜っている



におい ひ よ
匂いに引き寄せられたアラムシロが
むら うさ た
群がり、餌を食べる

- ・ コメツキガニの食事あとは、（すなだんご）とよびます。
- ・ 肉食の貝やヤドカリは、「海の（そうじ屋さん）」です。
- ・ 普段のアラムシロは、（ぬかるみ）にもぐっています。

気付き・感想



すいぶん おお すな どろ
水分の多い砂や泥のぬかるみ
にすむ生きものたちです。
ひがた なが かせん ちか おお
干潟を流れる河川の近くに多
く見られます。



ホソウミナ

《ウミナ科》

おお
大きさ 2 cm

かいがら い ぐち
貝殻の入り口は
黒い

ひょうめん しゅうだん
どろの表面に集団で
すむ。移動した跡が
スジ状に残る

ホトトギスガイ

《イガイ科》

おお
大きさ 2 cm

すな もぐ いと だ
砂やどろに潜り糸を出し
すな からだ こてい
砂をつけて 体 を固定



ソトオリガイ

《オキナガイ科》

おお
大きさ 5 cm

しろく て
うすい貝殻

かわすじちか
川筋近くの
どろの中に潜っている



さでいち
砂泥地（ぬかるみ）にすむ生きもの

アサリ

《マルスダレガイ科》

おお
大きさ 4 cm

すなち もぐ
どろや砂地に潜り
すいかん だ
水管を出してプランクトンを
た
食べる



かいがら もよう
貝殻の模様は
さまざま



マテガイ

《マテガイ科》

おお
大きさ 12 cm

あし つか
足を使って
あな ほ
穴を掘る



すなち もぐ
どろや砂地に潜る
あな かたち だ えんけい
穴の形は楕円形

アラムシロ

《ムシロガイ科》

おお
大きさ 1.5 cm

ひょうめん
ぬかるみの表面にすみ
ふだん あき もぐ
普段は浅く潜っている



すいかん にお
水管で匂いを
かん
感じとる



ひがた えき
干潟に餌をおくと…



にお ひきよ
匂いに引き寄せられたアラムシロが
むら た
群がり、餌を食べる

さでい ち
砂泥地（ぬかるみ）にすむ生きもの

チゴガニ

《スナガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 1 cm

かわすじちか
川筋近くのどろ地
す あな ほ
に巣穴を掘る

め した あお
目の下が青い
ものが多い



むらさきいろ
ハサミが紫色

オサガニ

《スナガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 3 cm

しめ つぶ こま
湿った粒の細かい
す なち す あな ほ
砂地に巣穴を掘る

ヤマトオサガニ

《スナガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 4 cm

ち この
どろ地を好んで
す あな ほ
巣穴を掘る



しろ
ハサミが白い



まる こうら
丸っこい甲羅

マメコブシガニ

《コブシガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 2 cm

まえむ ある
前向きに歩く
すな もぐ じょうず
砂に潜るのが上手



ケアシホンヤドカリ

《ホンヤドカリ科^か》

おお
大きさ 1.5 cm

みず しめ
水たまり、湿った
すなち
砂地やどろ地にいる



しよつかく あか
触角が赤い



ユビナガホンヤドカリ

《ホンヤドカリ科^か》

おお
大きさ 1.5 cm

みず しめ
水たまり、湿った
すなち
砂地やどろ地にいる

あし くろ もよう
足に黒いしま模様

アナジャコ

《アナジャコ科^か》

おお
大きさ 9 cm

ち でいり くち
どろ地に出入り口が2つ
ふか すあな ほ
ある深い巣穴を掘る



ニホンスナモグリ

《スナモグリ科^か》

おお
大きさ 5 cm

ち すなち
どろ地や砂地に
すあな ほ
巣穴を掘る

ハサミはどちらか
かたほう おお
片方が大きい

すなち じゃり い
砂地・砂利にすむ生きもの



ひかくてきかんそう すな じゃり
比較的乾燥した砂や砂利に
すむ生きものたちです。
ひょうめん かわ ふか ところ
表面は乾いても深い所は
しめ 湿っています。



ハサミに注意!

アシハラガニ

《モクズガニ科》

こうら はば 甲羅の幅 3 cm

あお みどりいろ
青っぽい緑色に
きいろ 黄色のふちどり

かこう じょうりゅうがわ
河口の上流側にすみ
おお すあな ほ
大きな巣穴を掘る



かた じめん まる
固い地面に丸い
すあな 巣穴はよく目立つ



なな 斜めに掘られたすあな
斜めに掘られた巣穴の
なが やく 長さは約30cm



あし みじか
足に短い
け 毛が生える

ヒメアシハラガニ

《モクズガニ科》

こうら はば 甲羅の幅 2 cm

アシハラガニよりも
うみがわ
海側にすむ

すなち じゃり い
砂地・砂利にすむ生きもの

ハクセンシオマネキ

《スナガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 2 cm

こいしま すなち
小石混じりの砂地に
すあな ほ
巣穴を掘る



オスのハサミは
かたほう おお しろ
片方が大きくて白い



おお
オスは大きなハサミを
おお ふり うご
大きく振り動かして
きゅうあい
メスに求愛する

コメツキガニ

《スナガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 1 cm

つぶ こま すなち
粒の細かい砂地に
すあな ほ
巣穴を掘ることが多い



すあな まわ
巣穴の周りに
すなだんご ちら
砂団子が散らばる



すなだんご
砂団子は
コメツキガニの
しょくじ
食事あと

スナガニ

《スナガニ科》

こうら はば
甲羅の幅 2.5 cm

しお こ すなはま
潮の来ない砂浜に
す あな ほ
巣穴を掘る



しりよく
視力がよく
はし
走るのが早い



ハサミシャコエビ

《ハサミシャコエビ科》

おお
大きさ 10 cm

じゃり どろ ま
砂利と泥が混ざりあう
ばしょ す あな ほ
場所に巣穴を掘る

あな いりぐち す
穴の入口は巣からかき出
した砂泥がお椀をかぶせ
たような塚になっている
す あな ほ
巣穴は、らせん状で長さ
は約3mもある



ちしき
まめ知識

その1

カニのオスとメスの見分け方

オスとメスの違いは「カニのふんどし」と呼ばれるお腹の部分を見るとわかります。オスは幅がせまい三角形、メスは幅が広い丸い形をしています。
(写真の点線部分)



す あな カニの巣穴いろいろ

す あな み 見るだけでどの種類のカニが巣に潜んでいるのか
ある程度わかります。それはカニのしゅるいによって入口の
かたち おお ちが 形や大きさが違うからです。

(ひだり 左：カニの種類、 しゅるい 中：入口の形、 なか いりぐち 右：巣の形、 みぎ す かたち)



ハクセンシオマネキ



ヤマトオサガニ



コメツキガニ



アシハラガニ

